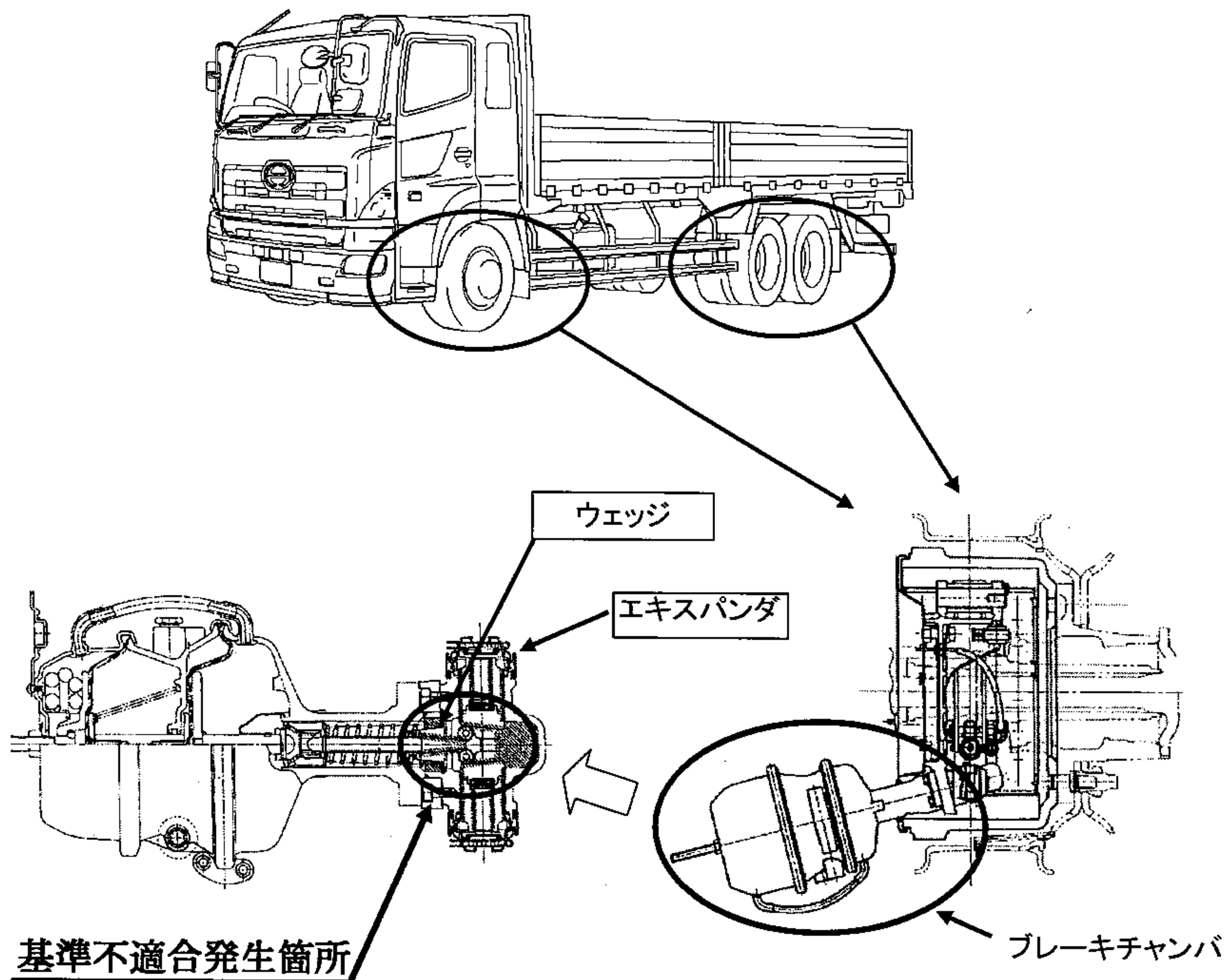


改善箇所説明図



主制動装置のブレーキシューを拡張するエキスパンダのウェッジ部の構造が不適切なため、当該シューのブレーキライニングが使用限度を超えて摩耗した状態又はシューギャップが大きい状態で使用した場合、当該ウェッジ部のローラがタペットを乗り越えて外れるものがある。そのため、当該ウェッジの作動が不能となり、ブレーキシューの拡張ができず制動力が低下し、最悪の場合、制動不能になるおそれがある。

注 ☐ は交換部品を示す。

改善の内容

全車両、当該ウェッジ又はエキスパンダを対策品と交換する。
なお、対策品が間に合わない場合は、ブレーキライニングの摩耗状況とシューギャップを点検し、基準を超えているものはブレーキライニングの交換やシューギャップの調整を行い、後日、対策品が揃った時点で交換する。

識別；改善済み車両には、車台番号打刻位置の末尾の上側に黄色ペイントを塗布する。